

状況に応じて7曲を演奏し分ける祭り囃子  
 鴻八幡宮祭りばやし(しゃぎり)



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	こうはちまんぐうまつりばやし(しゃぎり)
所在地	倉敷市児島下の町(鴻八幡宮)
指定年月日	平成9年3月25日
解説	<p>鴻八幡宮の秋の例大祭で、各町内から出される「だんじり」で演奏されるもので、地元では「しゃぎり」と呼ばれている。由来については京都や大阪から囃子方を招いて習ったもの、瑜伽(ゆが)参りや巡業の旅芸人によって伝えられたもの、などといった説が伝えられている。曲目は「だんぎれ囃子」「祇園囃子」など7曲あり、だんじりの進行や状況に応じて演奏される。</p>
アクセス方法	JR児島駅からバス「倉敷駅」行き(上の町経由)「鴻八幡宮前」下車すぐ
公開状況	10月第2日曜日及び前日
設備	
備考	<p>同じ囃子名であっても、演奏内容は町内ごとに異なっています。「しゃぎり」はもともと各町内だけの秘曲でしたが、今では公開され、演奏技術のさらなる向上と伝統文化の良好な継承につながっています。</p>

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	鴻八幡宮祭りばやし(しゃぎり)
よみかた	こうはちまんぐうまつりばやし(しゃぎり)
しょざいち (所在地)	倉敷市児島下の町(鴻八幡宮)
していたひ (指定した日)	平成9年3月25日
せつめい	鴻八幡宮(こうはちまんぐう)のお祭(まつり)のとき、それぞれの町内(ちょうない)から出てくる「だんじり」にあわせて演奏(えんそう)されます。「しゃぎり」とよばれています。曲目(きょくもく)は「だんぎればやし」「祇園(ぎおん)ばやし」など7曲(きょく)あり、笛(ふえ)を基本(きほん)にして演奏(えんそう)されます。